

第7回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた
国際ワークショップ報告書

大阪市立大学都市研究プラザ
先端的都市研究拠点編

Edited by Urban Research Plaza

大阪市立大学都市研究プラザ

第7回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた国際ワークショップ 報告書の刊行に寄せて

都市研究プラザは、大阪市立大学が創設以来蓄積してきた「都市研究」の実績をもとに、2006年4月に開設された。「プラザ」という名称を付したのは、研究者だけではなく、都市において様々なまちづくりの実践に取り組む人々もそこに集い、相互に刺激を与え合い、新たなアイデアを産み出すことができるような「広場」としての役割を果たしていきたいと考えてのことであった。

その後、2007年度には、文部科学省が、我が国の大学の教育研究機能の一層の充実・強化を図り、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力ある大学づくりを推進することを目的として創設した、グローバル COE プログラムの拠点のひとつに選ばれた。そして、2007年度から2011年度までの5年間、文部科学省の財政的支援の下に、「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」をテーマとする研究拠点形成推進事業に取り組んだ。その成果を受け継いでさらに、2014年度には、文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」としての認定を受けた。現在は、この認定を踏まえて、全国の関連研究者のコミュニティが都市研究プラザを拠点として、大阪市立大学がこれまで蓄積してきた都市研究の知的リソースや人的・組織的ネットワークを活用し、最先端の都市研究に取り組んでいただけるよう、そのための基盤整備に努めているところである。

そしてこの間、都市研究プラザは、一貫して、東アジア諸国において都市を基盤として研究活動を推進している諸機関や、都市問題の解決に向けた実践に取り組んでいる諸団体との交流に注力してきた。東アジア諸国の都市は、それぞれに特色を有しつつも、グローバル化の進展の下での社会的排除に関連したいくつかの共通した問題に直面しており、それゆえに、それぞれの都市における諸経験を突き合わせ、それらの諸経験の理論的および実践的な含意を検討することが、それぞれの都市が直面している問題の解決に資することになるであろうと考えてのことである。

そうした都市研究プラザの都市間交流の核となるのが「東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた国際ワークショップ」であり、その第1回を2010年に台北で開催して以来、ソウル、大阪、香港、そしてまた台北と、4都市において回り持ちで開催し、今年で7回を数えるに至った。本報告書は、その「第7回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた国際ワークショップ」における報告に際して各報告者が提出した資料を収録したものである。

大阪において開催されたこの第7回のワークショップでは、各国の研究機関に所属する研究者や都市問題の解決に実践的に取り組む NGO・NPO のメンバーに加えて、都市自治体の職員にも報告をお願いした。その結果、都市問題とその解決策をめぐる議論が、これまで以上に多面的ないしは多角的に展開することになったと自負している。また、大阪市、八

尾市、堺市の 3 市を移動しつつ、それぞれの都市において都市問題の解決に向けて実践的な取り組みがなされている現場を訪問するとともに、アジア諸国における同様の実践的な取り組みについての報告を受け、議論を繰り広げるというスタイルは、参加者に多くの刺激を与えた。その結果、ワークショップの最終日には、「インクルーシブ都市ネットワーク構築に向けた共同宣言」が提案され、参加者の多くがそれに賛同し、署名した。

そうしたワークショップの模様を伝える本報告書が、都市問題に関心を寄せる多くの人々に読まれ、研究や実践の参考にしていただけたならば、これに勝る喜びはない。

大阪市立大学都市研究プラザ所長

阿部 昌樹

趣旨

21世紀は「都市の世紀」と称されるように、世界的な規模での都市への人口集中が見られた。それに伴い、「貧困の都市化」のような、都市や特定の地域が貧困や排除と結び付いていくプロセスが注目されるとともに、都市空間の脆弱性の高まりに起因する都市問題への対応が喫緊の課題となっている。排除に立ち向かうために、不利を被っている集団や地域住民の声も見逃すことはできない。これまで、とりわけ東アジアの国や地域では、欧米の諸都市とは異なり、強力な政府のイニシアチブによってこのような問題に対応してきた。その結果、世界が目を見張るような経済成長を成し遂げてきた。これらの地域の経済や社会発展のプロセスを、開発主義や生産主義という観点から論ずる研究も増えてきている。

経済や産業再編のグローバルな圧力によりさらされている日本、韓国、台湾、中国(香港特別行政地域を含む)等、東アジアの国や地域は、安定した雇用どころか、ヘルスケア、教育、住まいを含む社会保障、さらに市民権に至るまでの、あらゆる包摂的な社会システムへのアクセスにおいて、一層厳しい現実さらされている。これらの諸課題に取り組むため、私たちは、ここ数年にわたり、東アジアインクルーシブシティネットワーク(EA-ICN)の形成に向けた努力を続けてきた。今回のワークショップは、そのネットワークのさらなる発展に向けた出発点として、EA-ICNのプラットフォームの構築を目指すものであり、都市間の交流をいっそう進めることが期待される。



プログラム&写真

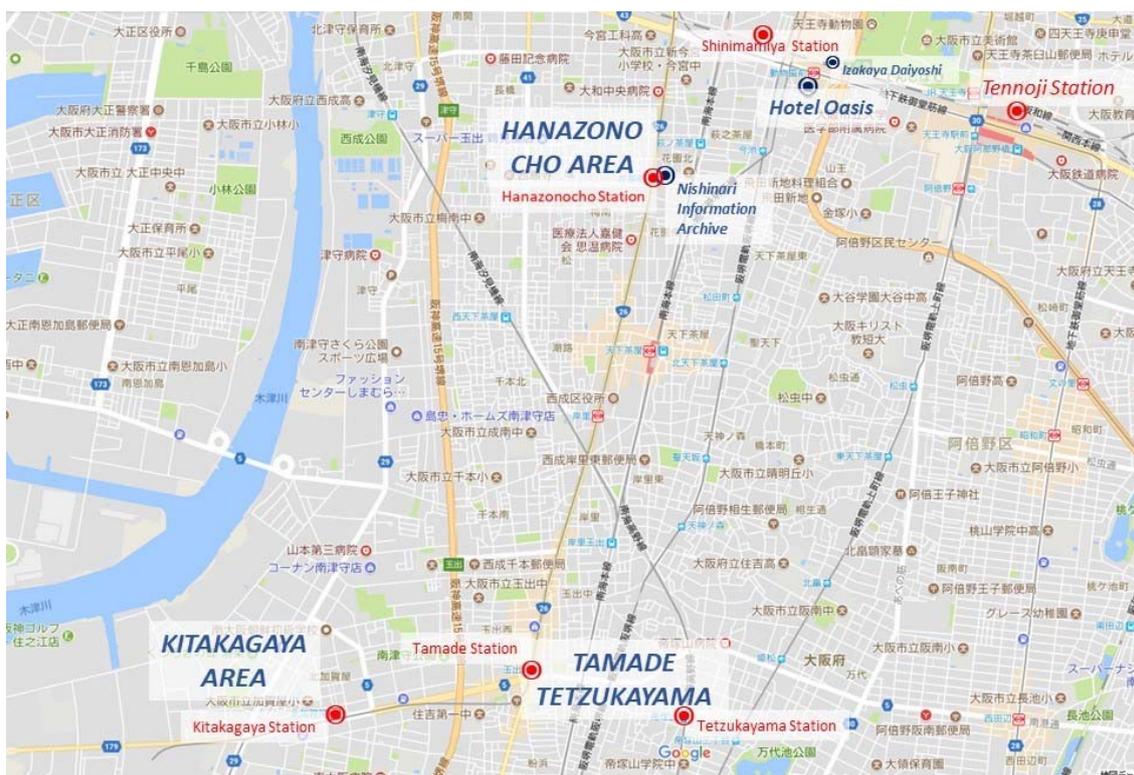
ワークショップ I：各都市における都市包容性にかかわる現状理解と実践経験の共有

8月21日(月)

9:15 ホテル中央オアシス宿泊者集合

9:15~9:30 移動

9:30~10:00 開場 受付(西成情報アーカイブ:もと弘治小学校 地下鉄花園町駅すぐ)



10:00~10:30 事例報告①

0. 地下鉄花園町駅周辺の单身向け共同住宅用途のフレキシブルな変遷

Flexible Transition of tenement use for singletons in Osaka's Hanazonocho Area

水内俊雄・キーナー ヨハネス・陸麗君・上田光希・木村優輝(大阪市立大学)

Toshio Mizuuchi, Johannes Kiener, Lijun Lu, Mitsuki Ueda, Yuki Kimura (Osaka City University)

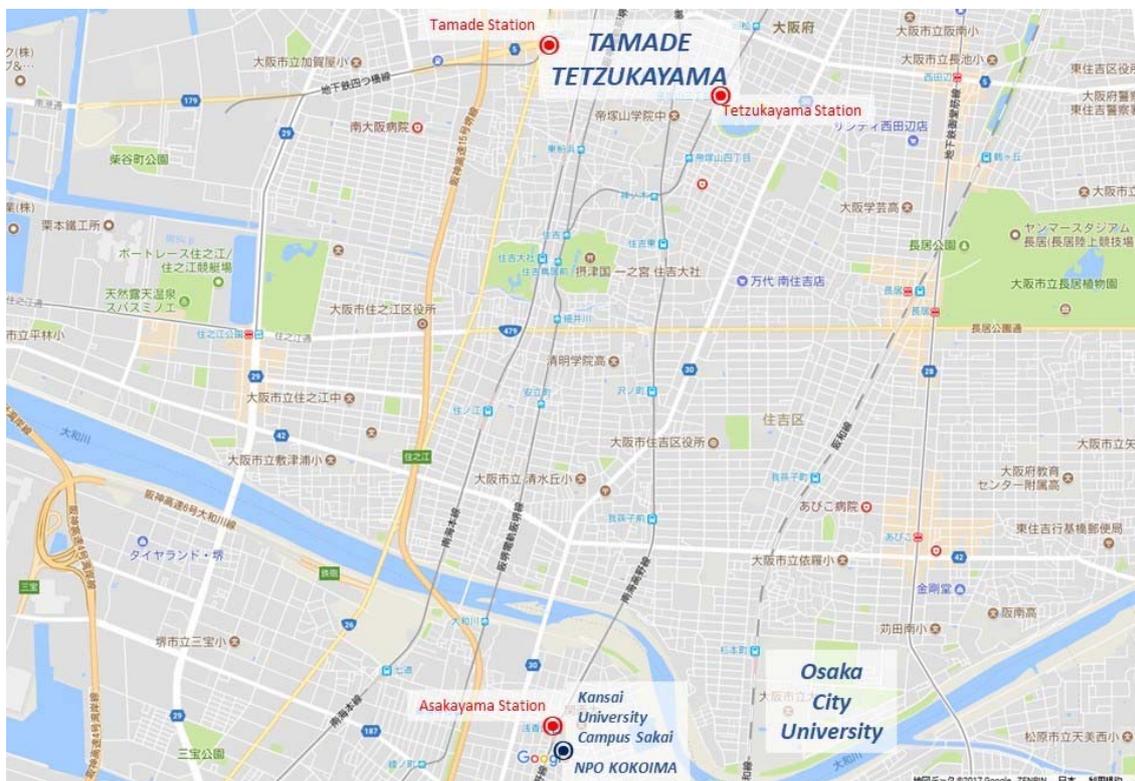
10:30~11:15 現地視察①-1(地下鉄花園町駅周辺のフレキシブルな共同住宅用途の実態:地元不動産業主、工務店主とめぐる)

案内:川田洋史(トラックスホーム代表)、中尾清司(ライフナカオ代表)

11:30~12:30 **Session 1 : ジェントリフィケーション・空間をめぐる都市政治** (西成情報アーカイヴ)

Session 1: 各都市の実践経験を共有。各都市はテーマ(ジェントリフィケーション、団地再生・再開発等)に関連して各々二つ以上の報告を行う。行政サイドの政策システムに関する報告(関連条例等支援制度及び民間実践-社会的企業、コミュニティビジネス等)、各報告は10分(通訳含み20分)以内で報告する。

1. ソウルの都市開発におけるホームレス
Homeless in Urban Development of Seoul
Mi-Hwa Tae (The Homeless Action Korea)
2. 社会的弱者の賃貸住宅トライアル計画
—ホームレスシェルターと民間賃貸住宅市場とのギャップを埋める
House the vulnerable: fix the gap between homeless shelter and rental housing market
陳姿宜 (芒草心慈善協会)
Zihyi Chen (Homeless Taiwan Association)
3. 'Nano'-isation: Hong Kong's Isotopia
Wing-Shing Tang (Hong Kong Baptist University) & Joanna Wai-ying Lee (The Chinese University of Hong Kong)



- 12:30～13:30 昼食
- 13:30～16:00 現地視察①-2（地下鉄花園町駅—北加賀屋駅—北加賀屋周辺—地下鉄玉出駅—帝塚山周辺—南海帝塚山駅）北加賀屋案内：西川亮（NPO Co.to.hana コトハナ）
- 16:00～17:00 移動（南海帝塚山駅—浅香山駅）17:00～18:00 事例報告&現地視察②（関西大学堺キャンパス）
- 浅香山病院精神科病棟による「ココ今ニティー写真展」の取り組み・
NPO kokoima による精神障がい者への居場所支援

4. 表現的実践を通じた「ケア観」の変遷にまつわる研究
—大阪府堺市 kokoima でのアクションリサーチから
アサダワタル（大阪市立大学）・小川貞子（NPO 法人 kokoima）
Wataru Asada (Osaka City Univ.) & Sadako Ogawa (Kokoima)

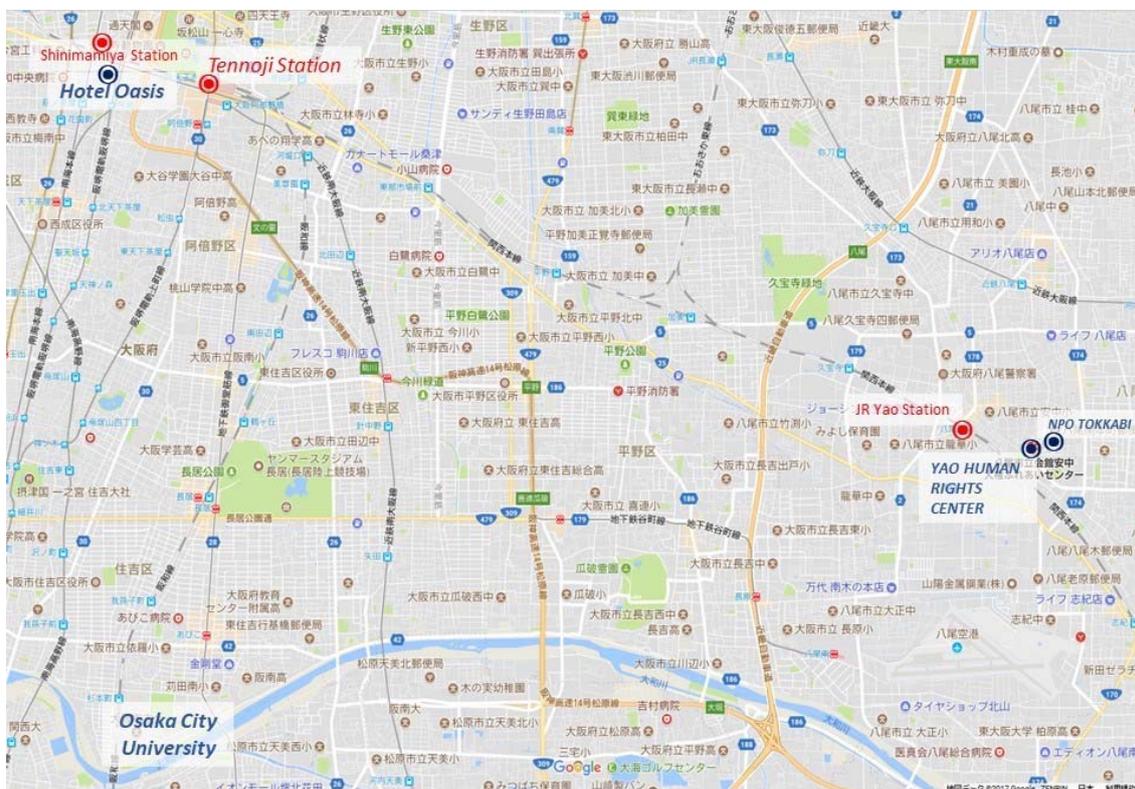
18:00～19:00 移動（南海浅香山駅—南海新今宮駅）

19:00～21:00 懇親会：大よし

8月22日（火）

9:30 集合（オアシス）

9:30～10:30 移動（JR 新今宮—JR 八尾）



10:30～12:30 現地視察&事例報告③（八尾市安中人権コミュニティセンター）

5. トッカビ (Tokkabi Association) の成り立ちととりくみ

朴洋幸 (NPO 法人トッカビ)

Yanghaeng Park (Tokkabi Association)

12:30～14:00 昼食（八尾市安中人権コミュニティセンター）

14:00～18:00 **Session 2 : 各都市におけるまちづくりと居住福祉の実践経験の理解と共有**

Session 2: ホームレスや障がい者をはじめとする社会的弱者への支援に向けた行政及び民間部門からの実践、各都市における居住福祉実践経験の共有。各国からは各々二つ以上の報告を行う。第一は行政側の政策システムにかんする報告(社会住宅制度及び居住支援サービス等)、第二に民間の居住資源(民間住宅ストック、支援組織・関連サービス)を活用した居住貧困層対象の民間団体による居住支援。各報告は10分(通訳含み20分)以内で報告する。

6. 八尾市における地域分権推進によるまちづくり

田中誠太 (八尾市長)

Seta Tanaka (Mayor of Yao City)

7. 韓国における「住居福祉棟」政策のあり方について

—公共賃貸住宅の新規建設から老朽化した団地の再生へ

Infill development in public housing estates in Korea:

Finding its place between new supply and stock improvement

ナム ウォンソク (ソウル研究院)

Won-Seok Nam (Seoul Institute)

8. 青年居住とジェントリフィケーション：韓国の平凡な30代の青年の事例を中心に

Youth housing and gentrification

チョ ヒョンジュン・ユン ソンノ (Minsnail Union)

Hyeonjun Cho & Seongno Yun (Minsnail Union)

9. Searching: the Way Home – Borrowing the voices of the homeless

Constance Ching (Univ. of Science-Malaysia) & Geerhardt Kornatowski (Osaka City Univ.)

10. 「住宅法」改正後：台湾における住宅補助と社会住宅政策のブレークスルーと展望

徐志維 (社会住宅推動聯盟)

Chih-Wei Hsu (Social Housing Advocacy Consortium)

11. 居住者主体による住まいづくりの可能性

A Report on the Possibility of Housing by residents

西野雄一郎（福岡大学工学部建築学科）

Yuichiro Nishino (Fukuoka Univ.)

12. 障がい者や生活困窮者等の居宅確保の解決に取り組む、居住支援型社会的事業の実践

齋藤宏直（NPO 法人みやぎ「こうでねいと」）

Hironao Saito (Miyagi Koudeneito)

13. 家の外から中まで：高齢者の賃貸支援と居住者への寄添い

張偉瑜（崔媽媽基金会）

Weiyu Chang (Tsuei Ma Ma Foundation)

14. 韓国における貧困層を対象にした住居福祉の現状と改善の方向性

Status and Improvement of Housing Welfare System for Poor People in Korea

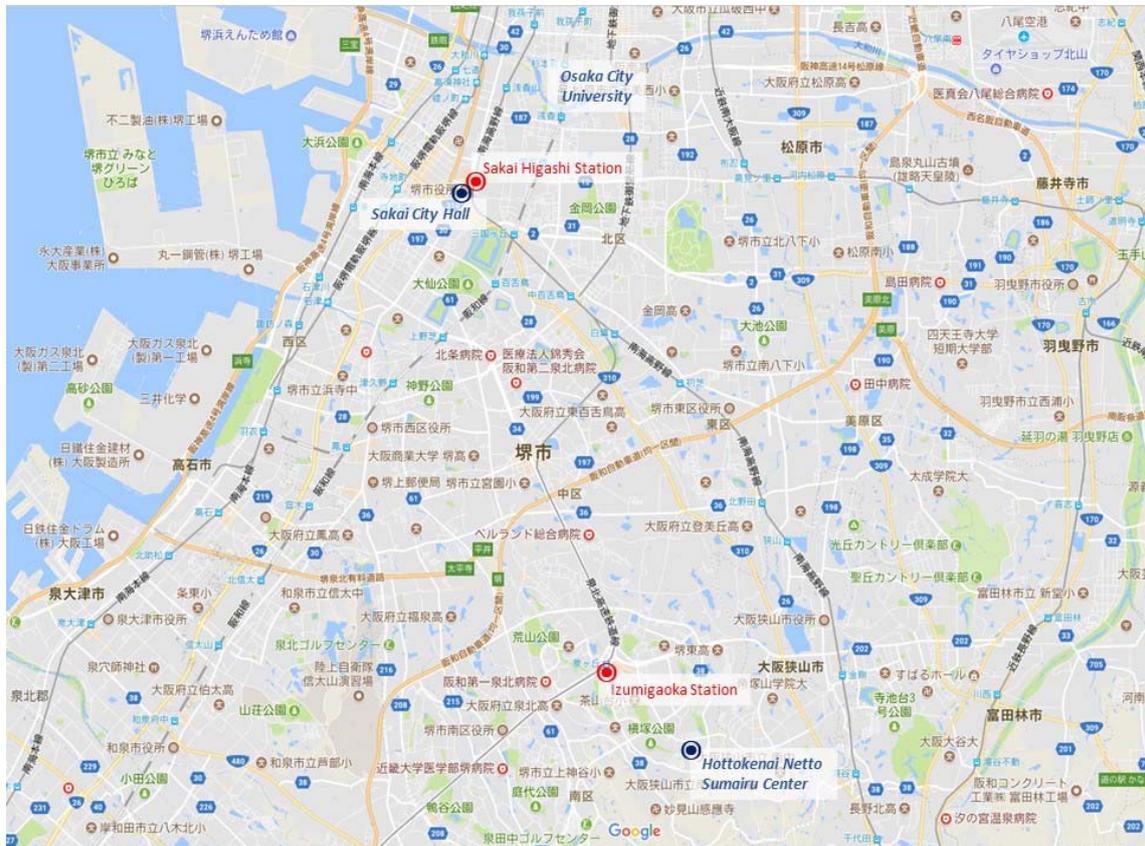
ユン エソク（貧困社会連帯）

Aesuk Yun (Korean People's Solidarity against Poverty)

(15:50~16:10 休憩)

19:00~21:00 懇親会

8月23日(水)



8:30 新今宮駅・南海—JR 改札口前集合

8:30～9:30 移動（南海新今宮駅—泉北高速鉄道泉ヶ丘駅—槇塚台センター）

9:30～12:00 現地視察&事例報告④泉北ほっとけないネット・スマイルセンター（槇塚台地域会館）

12:00～12:45 昼食（槇塚台地域会館にて）

12:45～14:00 移動（槇塚台センター—泉ヶ丘駅—南海堺東駅）

14:00～17:00 **Session 3:都市ネットワーク会議**（堺市役所本館3階 第1会議室）

Session 3: 東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた各都市政府の期待と展望に関する都市代表者の提言を受け、「**インクルーシブ都市ネットワーク構築に向けた共同宣言**」が提案される。

15. 生活保護世帯の大学生等の生活と不安

—堺市生活保護世帯の大学生等生活実態調査からみる高等教育進学の内り方
鷺見佳宏（堺市健康福祉局生活福祉部生活援護管理課）

Yoshihiro Washimi (Department of Health and Welfare, Sakai City)

16. 生活困窮者自立支援制度と大阪市事業

今里幸男（大阪市福祉局自立支援課）

Yukio Imazato (Department of Welfare, Osaka City)

17. Hong Kong Public Housing Policy and Compassionate Rehousing

Betty Lai Man Lee (St. James' Settlement)

18. SH ソウル住宅都市公社—住居福祉の実践事例

キム スジン（ソウル住宅都市公社）

Su-Jin Kim (Seoul Housing & Communities Corporation)

19. ソウル市の共同体住宅、社会住宅、支援住宅の紹介

ソン ホジャ（ソウル市住宅政策課）

Ho-Jae Song (Housing Policy Division, Seoul City)

20. 始興（シフン）市型住居福祉事業「ウルトチョン」

ヤン ミンホ（京義道始興市）

Min-Ho Yang (Siheung City)

21. ジェントリフィケーションから共生都市へ—ジェントリフィケーション防止政策

カン ヒュング（城東区役所）

Hyung-Gu Kang (Seongdong-gu Office)

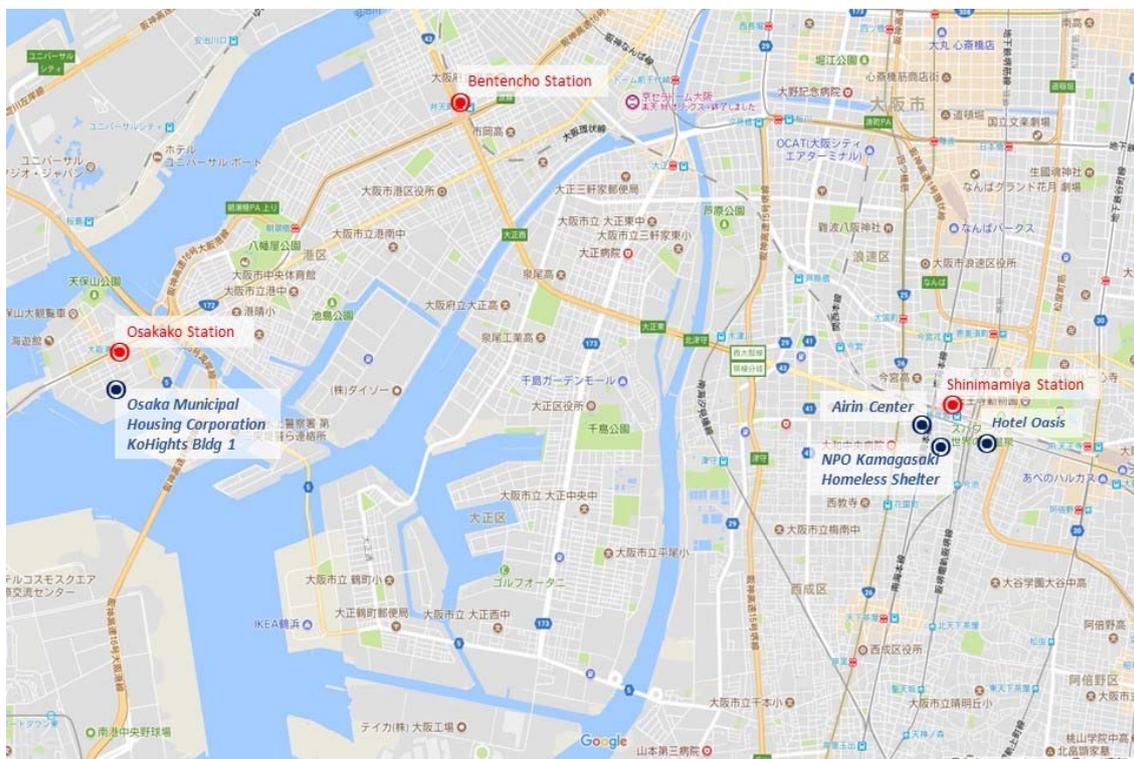
(15:30～15:40 休憩)

17:30～19:30 送別懇親会（市庁舎地下「森のキッチン」）

8月24日(木)

ワークショップⅡ：ホームレス支援現場及び大阪市住まい公社リノベーションプロジェクトの視察

9:00 西成プラザ集合



9:30～11:40 ホームレス支援現場およびあいりん地域とその周辺の土地利用変化の状況視察

(釜ヶ崎支援機構・新シェルター、あいりん総合センター)

11:40～12:20 昼食

12:20～13:00 移動(地下鉄動物園前一本町一大阪港)

13:00～15:00 大阪住まい公社リノベーションプロジェクトの視察(コーシャハイツ港1号棟)

15:00～15:30 移動(大阪港一新今宮)

15:30 解散







報告内容

http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/2017/12/06/report-collection_2017ea-icn/

Session 1：ジェントリフィケーション・空間をめぐる都市政治（西成情報アーカイヴ）

0. 地下鉄花園町駅周辺の単身向け共同住宅用途のフレキシブルな変遷

水内俊雄・キーナー ヨハネス・陸麗君・上田光希・木村優輝（大阪市立大学）

Flexible Transition of tenement use for singletons in Osaka's Hanazonocho Area

Toshio Mizuuchi, Johannes Kiener, Lijun Lu, Mitsuki Ueda, Yuki Kimura (Osaka City University)

1. ソウルの都市開発におけるホームレス

Homeless in Urban Development of Seoul

Mi-Hwa Tae (The Homeless Action Korea)

2. 社会的弱者の賃貸住宅トライアル計画

一ホームレスシェルターと民間賃貸住宅市場とのギャップを埋める

陳姿宜（芒草心慈善協会）

House the vulnerable: fix the gap between homeless shelter and rental housing market

Zihyi Chen (Homeless Taiwan Association)

3. 'Nano'-isation: Hong Kong's Isotopia

Wing-Shing Tang (Hong Kong Baptist University) & Joanna Wai-ying Lee (The Chinese University of Hong Kong)

4. 表現的実践を通じた「ケア観」の変遷にまつわる研究—大阪府堺市 kokoima でのアクションリサーチから

アサダワタル（大阪市立大学）・小川貞子（NPO 法人 kokoima）

Wataru Asada (Osaka City Univ.) & Sadako Ogawa (Kokoima)

5. トッカビ (Tokkabi Association) の成り立ちととりくみ

朴洋幸（NPO 法人トッカビ）

Yanghaeng Park (Tokkabi Association)

Session 2 : 各都市におけるまちづくりと居住福祉の実践経験の理解と共有

6. 八尾市における地域分権推進によるまちづくり

田中誠太（八尾市長）

Seita Tanaka (Mayor of Yao City)

7. 韓国における「住居福祉棟」政策のあり方について—公共賃貸住宅の新規建設から老朽化した団地の再生へ

ナム ウォンソク（ソウル研究院）

Infill development in public housing estates in Korea: Finding its place between new supply and stock improvement

Won-Seok Nam (Seoul Institute)

8. 青年居住とジェントリフィケーション：韓国の平凡な 30 代の青年の事例を中心に

チョ ヒョンジュン・ユン ソンノ（Minsnail Union）

Youth housing and gentrification

Hyeonjun Cho & Seongno Yun (Minsnail Union)

9. Searching: The Way Home – Borrowing the voices of the homeless

Geerhardt Kornatowski (Osaka City Univ.) & Constance Ching (Univ. of Science-Malaysia)

10. 「住宅法」改正後：台湾における住宅補助と社会住宅政策のブレークスルーと展望

徐志維（社会住宅推動聯盟）

Chih-Wei Hsu (Social Housing Advocacy Consortium)

11. 居住者主体による住まいづくりの可能性

西野雄一郎（福岡大学工学部建築学科）

A Report on the Possibility of Housing by residents

Yuichiro Nishino (Fukuoka Univ.)

12. 障がい者や生活困窮者等の居宅確保の解決に取り組む、居住支援型社会的事業の実践

齋藤宏直（NPO 法人みやぎ「こうでねいと」）

Hironao Saito (Miyagi Koudeneito)

13. 家の外から中まで：高齢者の賃貸支援と居住者への寄添い

張偉瑜（崔媽媽基金会）

Weiyu Chang (Tsuei Ma Ma Foundation)

14. 韓国における貧困層を対象にした住居福祉の現状と改善の方向性

ユン エソク (貧困社会連帯)

Status and Improvement of Housing Welfare System for Poor People in Korea

Aesuk Yun (Korean People's Solidarity against Poverty)

Session 3 : 都市ネットワーク会議

15. 生活保護世帯の大学生等の生活と不安

一堺市生活保護世帯の大学生等生活実態調査からみる高等教育進学の在り方

鷺見佳宏 (堺市健康福祉局生活福祉部生活援護管理課)

Yoshihiro Washimi (Department of Health and Welfare, Sakai City)

16. 生活困窮者自立支援制度と大阪市事業

今里幸男 (大阪市福祉局自立支援課)

Yukio Imazato (Department of Welfare, Osaka City)

17. Hong Kong Public Housing Policy and Compassionate Rehousing

Betty Lai Man Lee (St. James' Settlement)

18. SH ソウル住宅都市公社一住居福祉の実践事例

キム スジン (ソウル住宅都市公社)

Su-Jin Kim (Seoul Housing & Communication Corporation)

19. ソウル市の共同体住宅、社会住宅、支援住宅の紹介

ソン ホジャ (ソウル市住宅政策課)

Ho-Jae Song (Housing Policy Division, Seoul City)

20. 始興 (シフン) 市型住居福祉事業「ウルトチョン」

ヤン ミンホ (京義道始興市)

Min-Ho Yang (Siheung City)

21. ジェントリフィケーションから共生都市へ—ジェントリフィケーション防止政策

カン ヒュング (城東区役所)

Hyung-Gu Kang (Seongdong-gu Office)

共同宣言

인클루시브 도시 네트워크 구축을 위한 공동 선언(안)

포용도시네트워크 구축을 위한 공동선언(안)

邁向包容性都市網絡建構的共同宣言(案)

第7回東アジア包摂都市ネットワーク@OSAKA

제7회 동아시아 포용도시네트워크@OSAKA

第7屆亞洲包容都市網絡@OSAKA

都市は、すべての市民の力によって創造され、また維持されて発展する。都市は 모든 시민의 힘으로 창조되었으며 유지되고 발전한다.

都市由所有市民的力量所創造、維持並得以發展。

誰もが財産、性別、年齢、宗教等を理由に都市から排除されてはならない。누구도 재산, 성별, 연령, 인종, 종교 등을 이유로 도시로부터 배제될 수 없다. 不論任何人都應該因財產、性別、年齡、宗教等理由從都市中被排除。

都市は全ての市民のものである。全ての市民は、都市の便益を享受し、都市の政治や行政に参加し、都市空間を公平に共有する権利を有する。

都市는 시민 모두의 것이다. 모든 시민은 도시의 편익을 누리고, 도시의 정치와 행정에 참여하며, 도시의 공간을 공평히 공유할 권리를 가진다.

都市為所有市民所共有。所有市民均享有都市之便、並擁有參與都市

政治與行政、都市空間公平共有的權利。

我々は、差別がなく、全ての人がアクセスでき、かつ全ての人が利益を共有できる持続可能な包摂都市を形成するため、以下のとおり宣言する。

一、我々は、全ての市民が、都市行政に積極的に参加できるような様々な機会を設けられるよう努める。

하나, 우리는 모든 시민이 도시행정에 능동적으로 참여할 수 있는 다양한 기회를 마련하기 위해 노력할 것이다.

一、我們所有市民、均應該為了保障市民積極參與都市行政的各種機會而努力。

一、我々は、全ての市民の政治、経済、宗教、文化的価値が、それぞれ尊重される社会文化を形成するよう努める。

하나, 우리는 모든 시민의 정치, 경제, 종교 문화적 가치가 다양하게 존중받을 수 있는 사회문화 형성을 위해 노력할 것이다.

一、我們所有市民、均應該為了創造所有市民的政治、經濟、宗教、文化價值均得以受到尊重的社會文化而努力。

一、我々は、以上のような共同の努力を尊重し、実践する東アジア包摂都市ネットワークを構築するよう努める。

하나, 우리는 이상의 공동의 노력을 존중하고 실천하는 동아시아 포용도시네트워크의 구축을 위해 노력할 것이다.

一、我們所有市民、均應該尊重以上共同的努力、並為了打造東亞包容都市網絡而努力。

2017年8月23日

以下、署名者

우리는 차별이 없고 모두가 접근가능하며 모든 사람이 동시에 고른 혜택을 나누는 지속가능한 포용도시를 위해 다음과 같이 선언한다.

我們為了達成沒有歧視、所有人都可以加入、所有人的利益皆可共有的永續性包容都市、宣言如下。

一、我々は、すべての市民が、人間らしい暮らしが保障される居住環境を整備するよう努める。

하나, 우리는 모든 시민이 인간다운 삶을 보장받을 수 있는 주거환경을 조성하기 위해 노력할 것이다.

一、我們所有市民、均應該為了打造人們生活得以受到保障的居住環境而努力。

一、我々は、すべての市民が、ジェントリフィケーションによって、経済及び文化生活の権利を侵害されないよう努める。

하나, 우리는 모든 시민이 젠트리피케이션 현상 때문에 경제 및 문화생활의 권리를 침해받지 않도록 노력할 것이다.

一、我們所有市民、均應該避免因巔紳化而侵害經濟、化生活的權利而努力。

一、我々は、全ての市民に安定的な経済生活を保障し、自己実現を追求することができる仕事や社会サービスを提供できるよう努める。

하나, 우리는 모든 시민에게 안정적인 경제 생활 보장하고 자아실현 추구할 수 있는 일자리 및 복지 서비스를 제공하기 위해 노력할 것이다.

一、我們所有市民、均應該為了保障市民穩定的經濟生活、提供得以追求自我實現的工作與社會服務而努力。

湯山篤 Rhylee 김민호
今里幸男 劉鳳英 김희영
徐志維 陳海宜 馮兆斌
김기태 邱秀雅 藤原秀純
조현근 윤성도 김양호
고선근 豊田純子 기현
남원석 강승우 이소빈
신명숙 阿印台 朴 김재홍
채희진 鄧永成 신세진
張偉倫 林久善 衣川齊
徐麗芳 古下政美 生田光希
徐鍾均 鄭洋鎭 李折亨
홍민준 田上孔雄 李折亨
黃敏玲
김현우 山田理奈子
이재민

第7回東アジア包摂都市ネットワークの構築に向けた国際ワークショップ
報告書

2017年12月10日

大阪市立大学都市研究プラザ

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

TEL:06-6605-2071 FAX:06-6605-2069

<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/index.html>